

【震災募金口座】 振替 00140-9-180881
宗教法人日本バプテスト連盟総務部

＜福島にいと・～原発課題班コラム＞

あゆみの家キリスト教会 渡辺政友



福島にいと、他県に住んでいる方からストレートな質問をされて苦笑しそうになることがあります。「福島で健康被害起こってますか？」なんてストレートな質問でしょうか。私自身は、そのような質問をされても苦笑することはあっても、不快に思うことはあまりありません。しかし、私を不快にさせない質問が、私以外の方を不快にさせないとは限りませんから、福島の住民と話す時は繊細な配慮が必要です。

そのようなストレートな質問に対してストレートに答えようと思えば、「おそらく、起こっています。」と言う曖昧な答え方しかできません。皆さんは、ご自分が病気になった時に、どうして病気になったのか説明することができますか？「おそらく、このような理由です。」と言う曖昧な答えしかできないと思います。私は、低線量被曝による健康被害とは、そのようなものだと思っています。現時点では、放射能に汚染された地域に住む人が病気になっても、それが被曝

によるものなのか、他の原因によるものなのかを判別することは不可能に近いほど困難です。私はここにこそ、放射能汚染地域で生きる人間の葛藤の根源があるような気がしてなりません。

さて、放射能汚染問題は、福島だけの問題ではありません。皆さんの健康管理のために広島市の某市民団体の取り組みを紹介します。その団体の方たちは、チェルノブイリ原発事故と福島原発事故による放射能汚染地帯の人たちのために味噌と梅干とドクダミとウーロン茶を送りました。味噌や梅干のような発酵食品は免疫力を高めると言われています。科学的根拠を示すことは難しいですが、これらの食材には放射性物質の影響を少なくする作用を期待できるかもしれません。皆さんの健康管理のために参考にいただければ幸いです。広島と長崎の方たちの知恵に学ぶことは大切です。汚染された地域で生きることには不安が伴いますが、私たちは広島と長崎とチェルノブイリ事故による原発事故による汚染地域に生きてこられた方たちの経験と知恵に学ぶことができます。

＜現地支援委員会より＞

現地支援委員長 金丸 真（仙台長命ヶ丘キリスト教会）

被災地では、各地域における復興のスピードの違いがいよいよ顕著になっています。原発事故が収束せず、放射能被害の中で生活が壊され続けている地域や、宅地造成完了まであと数年も要する地域、そろそろ仮設住宅が解体される地域…。

宮城県亘理町の宮前仮設住宅では、入居者が現在9世帯になりました。定例のお茶会に来られる方も少なくなってきました。そんなあるお茶会に、「飼っていた猫が死んじゃってね、落ち込んでいたから、バプテストさんが来てくれてうれしいよ」、そう言って一人の女性が集会所にやってきました。この方は仮設住宅を出て新しい生活を始めていますが、私たちのお茶会があることをポスターで知って自転車で遊びに来てくれたのです。仮設住宅を出たからこそ抱える孤

独感、不安感もあるようです。そんな方々が今までの交わりを懐かしむように仮設住宅のお茶会にやってきます。するとそのお茶会には、各地域の教会から送られてきたお菓子やお土産があり、「ああ、震災から4年半経っても、全国の方々が応援してくれている」、そういう希望をいただいて日常に帰っていく。ただそれだけなんです。しかしそれが命をつなぐ出来事だと信じています。東北はまだまだ復興の途上です。どうかこれからもお祈りとお支えをお願いいたします。皆様に感謝して。



震災募金にご協力ください 2015年度募金目標額：1400万円（国内・国外）

2015年9月までの実績 367万円（昨年同月比：-177万円）

＜2015年8月9月募金者（受付順、敬称略）＞ 28名(口)の方々から献げられました。心から感謝申し上げます。

奈良、福岡西部、西南学院高等学校生徒会、中野、大宮、筑波、調布、かたえ、久保祐子、福岡、洋光台、仙川、鹿児島、広島西、高崎、古賀、調布、中野、東大阪、テキサス日本語バプテスト教会、東北地方連合実行委員会、川越、東北連合女性会、相浦光、鹿児島、香住ヶ丘、古賀、赤塚

◇ 2015年度の募金は次の活動に使用させていただいております。

● 被災者支援	9,000千円	
・被災者訪問支援	(8,500千円)	現地支援委員会による仮設住宅及び在宅被災者への訪問支援
・ボランティア旅費	(500千円)	全国からのボランティアに対する旅費補助
● 原発課題への取り組み	4,800千円	
・子ども避難保養プロジェクト	(2,000千円)	福島旭町教会、郡山コスモス通り教会へのプロジェクト支援
・放射線被ばくに伴う健康診断	(1,000千円)	甲状腺検診等の被ばくに伴う健康診断の実施
・原発大量放射能漏れ避難プラン	(100千円)	避難に備えての水、薬品、通信手段、車両等の準備（ストック）
・線量測定及び「除染」	(500千円)	線量計測、被ばく線量低減対策等の実施
・放射線避難のための移住支援	(600千円)	低線量地区への移住支援（実費＋生活支援費）
・その他（経費、旅費等）	(600千円)	委員会（3回／年）旅費及び経費
● 委員会費用、諸費	3,190千円	委員会開催経費、広報費、人件費、諸経費、予備費